

事業所名		さくらプラス				支援プログラム（様式）				作成日		令和7 年		3 月		7 日			
法人（事業所）理念		一人ひとりの個性を大切に育む																	
支援方針		人間の多様性の尊重等を強化し、障がい児が精神のおよび身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的の下、障害の軽重が共に学ぶ場所を提供 ノーマライゼーションの考えに沿って、障がい児の社会的自立（自律）を果たす上で必要な技術等を身に付ける 大人になった時をイメージしながら、自立(自律)できるようサービス提供を行います。																	
営業時間				10 時		0 分		から		19 時		0 分		まで		送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容																	
本人支援	健康・生活	・必要最低限の挨拶 ・定期的な心身の把握 ・生活リズムの安定 ・衣類の着脱 ・構造化された環境																	
	運動・感覚	・姿勢保持 ・視覚、聴覚、触覚などの感覚活動 ・つかむ、支える等の要素を取り入れた課題の提供 ・指先トレーニング ・見る機能を高めるトレーニング（見たい物を見られる：左右の目のバランス：見た物の認識・記憶：目と体を調整・視野を広げる） ・外出先で体を動かす																	
	認知・行動	・様々な物に触れ、その性質や仕組み、形、色、大きさ、音、不思議さ等に興味や関心を持つ ・スケジュールと環境の調整を図り、落ちついて安心して行動ができる場所づくり ・文字や数字を利用し遊びやルールづくりに活用 ・実物や写真等本児が理解できる提示方法で、やるべきことを明確にし自発的な行動ができる力をつける。																	
	言語 コミュニケーション	・文字・写真・絵カードを用いて適切なコミュニケーション手段を選択・活用 ・挨拶等をする事で発語力：発言力等の向上及びコミュニケーション能力の向上を図る ・困った時など意思表示が出来る様に支援する ・ルールなどを教える際はスタッフが入り教える ・時と場合に応じて声掛けでの対応																	
	人間関係 社会性	・アタッチメント形成と安定（自尊心を高める・認める） ・買い物学習等を取り入れ、社会性を身に付ける ・室内では盛ボードゲームやカードゲームなど遊びを通じた社会性の向上 ・外出の際は他児との関わりを多くとり人間関係の向上を図る ・ルールの理解が必要な遊びや集団活動																	
家族支援		・面談時・送迎時等に情報共有 ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談支援 ・レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援								移行支援		・併用利用先や学校等との情報共有 ・移行先との調整や支援内容の共有 ・学校卒業後の生活に向けた成人期への意向を意識した支援の実施							
地域支援・地域連携		・学校、医療機関、相談支援事業所、障害福祉サービス事業所などとの情報連携 や調整を図る								職員の質の向上		・日々の意見交換（スタッフ同士の業務について、ご利用者の状況把握や 問題点の共有） ・定期的なミーティングの開催 ・内部、外部研修の受講							
主な行事等		・特に決まっていないが季節を感じる行動を取り入れている（花見・水遊び等） ・避難訓練年2回実施(6月・2月)																	